

医師と考える

人工股関節手術の ポイントを押さえて看護に活かす

～清潔・インプラントメーカーに頼らない器械出し～

低侵襲手術の普及で、新しい知識の習得や高度な技術を要する術式が年々増加しております。
手術看護は専門的な知識や技術が必要なため、教育に多くの時間を要し、
「器械出し看護」は清潔野という限られた場で実践が繰り返されることから、
他者と共有する機会が少ないという特徴があります。
さまざまな施設の先生方と人工股関節手術についてディスカッションをし、
明日から使える知識を習得していただける情報交換会としたいと考えております。



開催日時

2022年3月5日(土) 14:00~16:00

開催場所

Zoom(オンライン)

登壇者



講師
日本赤十字社 静岡赤十字病院
整形外科部長/
股関節・人工関節センター長

西脇 徹 様

ファシリテーター
医療法人社団 愛友会 三郷中央総合病院
認定看護管理者/感染管理認定看護師
副看護部長

飯干 雅稔 様

パネリスト
慶應義塾大学病院
手術・血管造影センター看護師

今藤 祐子 様

パネリスト
社会福祉法人
聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院
臨床工学室 臨床工学技士

森谷 千秋 様

パネリスト
順天堂大学医学部附属練馬病院
中央手術室看護師

佐治 真由美 様

プログラム内容

- ・THAの特徴と器械出しのポイント
 - ・各施設でのTHA器械出しのコツ、独り立ちの工夫、学びの工夫
 - ・清潔保持のための工夫
- ※器械出しをしている臨床工学技士の方にもご登壇いただきます

参加費

無料

セミナー中も皆様からのご質問を
お受けし、ご質問に対する
意見交換を実施します!



お申し込み方法

- ① URLもしくは二次元コードから特設ページにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。
申し込み締切日 3月3日(木) 特設ページ <https://www.hogy.co.jp/seminar/index.html>
- ② 追ってご登録のメールアドレスへご視聴いただく配信URLをお送りいたします。
- ③ 当日は配信URLに接続のうえ、オンラインでご視聴ください。

- ◆携帯電話(キャリア)のメールアドレス登録は、事務局からのメール不達の恐れがあるため極力お控えください。
- ※Gmail、Yahoo!メール、Outlook.com推奨
- ※お申し込み後すぐにご案内メールが届かない場合、迷惑メール設定などにより、HOGYからのメールがはじかれている場合がございます。ご確認ください。
- ※当日、アクセスできない・URLが分からない等の不具合がございましたら、こちらまでご連絡ください。03-6229-1324
- ※セミナー終了後、アンケートにお答えいただいた方には当日の資料の一部抜粋、セミナー内のご質問への回答を共有させていただきます。
- ※お申し込みを行った方で、当日参加できなくなった場合は、後日動画配信もご紹介します。



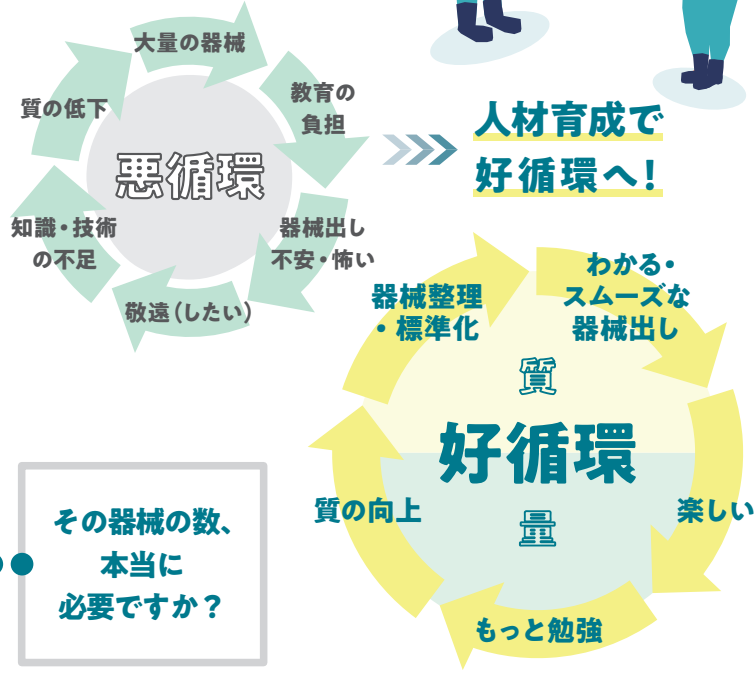
・本オンラインセミナーは医療従事者の方を対象としております。一般の方のお申し込みは、ご遠慮ください。
・同業者の方からの申し込みはお断りする場合がございます。

限られた人材の中で、 誰でも安全に同じ準備・介助をするために



個人による質のバラつきで
安全な手術実施に不安はありませんか？

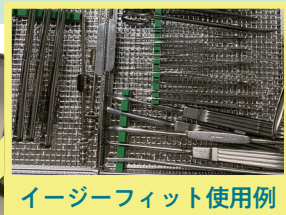
離職、人不足	教育時間の不足
高難度の手術	大量の器械
数社の違う器械を使用	高い清潔度



工夫次第で
「もっと安全に」「誰でも同じく」

必要な材料・器械を必要な分だけ確実に準備

必要な材料を直前まで開けずに
準備できるプレミアムキット



イージーフィット使用例

器械削減でバスケットを重ねず配置。流れに沿って器械を整理することでスムーズな準備・介助へ

ガイドラインに沿った業務改善を行い、より安全な医療提供をお手伝いします

AORNガイドライン2022
Retained surgical items; Recommendation Preparing sterile field
5.10 器械セット標準化。カウントシートと共にその手術に必要な最小限の数にする。器械の数と種類の削減はカウントを簡素化、容易にする。
5.10.1 日常的に使わない器械はセットから外す。追加や時々使う器械は必要時にあける。

AORNガイドライン2022
Sterile technique; Recommendation 5. Instruments
3.3 時間経過とともに滅菌物が汚染されることについて多くのエビデンスがあるため清潔器械台は可能な限り閉めておく。使用の何時間も前から開けるより、必要な時にすぐ開けられるよう準備しておくことがベスト。
3.6 清潔器械台は使用する手術室内で準備し、他の部屋へ移動させない。

出典先：AORN Guideline for perioperative practice, AORN, 2022

経験年数、職種問わず、“誰が”実施しても “安全な医療”が提供できる手術室へ変革(DX)を